



平成 29 年度
こどもエコクラブ全国フェスティバル 2018
～輝け☆全国のアースレンジャー！～
実施報告書



はじめに

こどもエコクラブは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育み、地域の環境活動の環を広げることを目的として1995年にスタートしました。事業開始から20年以上が経過し、大人になったかつての子どもたちが、こどもエコクラブの活動を通じて培った力を地域のまちづくりに発揮しはじめています。

2017年度は、全国で1,852クラブ、101,657人の幼児から高校生までの子どもたちが、それぞれの地域に根ざした環境活動を行い、2018年3月に1年間の活動の締めくくりとして、こどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。参加した子どもたちは、活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとに日々の活動などを発表して交流を深めるとともに、お互いを称えるオリジナルの表彰状を作って交換し、今後も地域での活動を継続していくことを誓い合いました。また、企業・団体展示コーナーを見学して企業・団体の環境への取り組みについて楽しく学び、考える機会を持ちました。

また、こどもエコクラブのOB・OGからなるAll Japan Youth Eco-clubのメンバーをはじめ、様々な大学の学生たちがボランティアとして本フェスティバルに参加し、当日のプログラムの企画や運営をサポートしてくれました。子どもたちの先輩であるユース世代の活躍はメンバーの更なる成長を促し、環境活動を担っていく次代のリーダーが育っていることが子どもたちを通じて多くの方々にも伝わっていくことと思います。

本報告書は、この全国フェスティバルの様子をまとめたものです。こどもエコクラブをご理解いただき、今後の連携・協働を進める上で、ご参考になれば幸いです。

目次

開催概要	3	表彰式	11
プログラム	4	受賞作品一覧	13
オープニングセレモニー	5	幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与	15
交流タイム	5	クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定	15
エコ活セッション	6	クロージングセレモニー	16
サポーター交流会	6	子どもたちからの活動レポート	17
企業・団体の環境への取り組みを見てみよう!	7	サポーターからの声	17
みんなで表彰式★～賞状作り・表彰式～	10	代表クラブ一覧	18
来賓挨拶	11	広報・普及活動	19
		こどもエコクラブ支援企業・団体一覧	21

開催概要

- イベント名: 「こどもエコクラブ全国フェスティバル2018 ～輝け☆全国のアースレンジャー!～」
- 実施目的: 熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わりの場を提供する。

知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 : 2018年3月25日(日)
- 会場 : 日本科学未来館(東京都江東区青海2丁目3-6)
- 主催 : 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援 : 環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、
国立研究開発法人科学技術振興機構日本科学未来館、公益社団法人こども環境学会、
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK

■ 出展企業・団体:

アース製薬株式会社、アマノ株式会社、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ、株式会社イトーキ、SGホールディングスグループ(佐川急便)、株式会社エフピコ、王子ホールディングス株式会社、オリンパス株式会社、DOWAエコシステム株式会社、トヨタ自動車株式会社、一般社団法人日本印刷産業連合会グリーンプリンティング認定事務局、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター株式会社、三井化学株式会社、株式会社山田養蜂場、エコマーク事務局

- 協力 : 井筒まい泉株式会社、MSC(海洋管理協議会)、All Japan Youth Eco-club、株式会社ケニス、東京都水道局、一般社団法人日本即席食品工業協会、株式会社丸井スズキ、株式会社ミールケア、目白大学、リソー教育グループ、株式会社龍角散、早稲田大学学生環境NPO環境ロドリゲス

■ 参加者: 466名

- ・都道府県代表クラブ: 292名(子ども171名、大人121名)
- ・絵日記受賞メンバー: 14名(子ども8名、大人6名)
- ・一般来場者: 15名(子ども4名、大人11名)
- ・こどもエコクラブ自治体担当者: 15名
- ・企業・団体担当者: 59名
- ・関係者: 71名

○ 都道府県代表クラブ

代表クラブは、1年間の活動などをまとめた「壁新聞」をもとに、独創性・発展性・アピール力・地域への密着性等の観点から選ばれたクラブ。

各都道府県から1クラブ選出。

○ 絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等を描いた絵日記をもとに、選考委員会にて選ばれた優秀賞受賞メンバー

プログラム

時 間	プログラム	展 示
9:15～ 10:00	◆集合、受付	
10:00～10:10	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ 司会: All Japan Youth Eco-club	
10:10～10:50	◆交流タイム「みんなでなかよくなっちゃおう」 企画・進行: 早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス	
10:50～11:05	◆企業・団体の紹介 ・子どもエコクラブを応援している企業・団体を紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に関する取り組み内容の紹介	
11:05～12:00	◆エコ活セッション 壁新聞・絵日記をもとに子どもたちが日頃の活動を発表・取材しあう	◆サポーター交流会
12:00～12:15	◆企業・団体の紹介 ・子どもエコクラブを応援している企業・団体を紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に関する取り組み内容の紹介	
12:15～14:20	◆昼食 ◆企業団体の環境への取り組みを学ぼう ◆みんなで表彰式★～賞状作り～ パートナーになったクラブに向けて、オリジナルの賞状を作成	・全国から届いた壁新聞と絵日記の展示
14:20～14:35	◆集合写真撮影	
14:35～14:45	◆来賓挨拶 環境省 総合環境政策統括官 中井 徳太郎 様	・活動フォトコンテスト受賞作品展示・年間賞投票
14:45～15:10	◆表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞: 大阪府大阪市「せいわエコクラブ」 文部科学大臣賞: 兵庫県神戸市「玉一アクアリウム」 日本環境協会賞: 静岡県湖西市「今川子ども自然クラブ」 三井住友銀行賞: 徳島県吉野川市「あわっ子！エコ！クラブ」 エコマーク賞: 三重県明和町「明和イオンチアーズクラブ」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 富山県高岡市「高岡市合同子どもエコクラブ」 大阪府高槻市「柱本保育園子ども未来学舎え〜こ・レンジャー」 【絵日記部門】優秀賞: 山谷 圭汰さん(青森県弘前市「HEP21 エコクラブ」) ハンブレ 沙弥さん(愛知県長久手市「もりの学舎キッズクラブ」) 石間伏 璃青さん(兵庫県神戸市「玉一アクアリウム」) 辻橋 穂登さん(岡山県津山市「わくわくエコクラブ」) 【活動フォトコンテスト年間賞】 平成 29 年度子どもエコクラブ賞: 新潟県南魚沼市「第二上田小学校エコクラブ」 平成 29 年度ケニス賞: 神奈川県横浜市「横浜ハッケンジャー」	・子どもエコクラブ応援企業・団体一覧
15:15～15:30	◆みんなで表彰式★～表彰式～ パートナークラブ同士でオリジナル賞状を交換し、一年間の活動を称えあう	
15:30～16:00	クロージングセレモニー ・全国フェスティバルのふりかえり ・閉会の挨拶	

※全国フェスティバル終了後、希望するクラブは日本科学未来館を自由に見学。

オープニングセレモニー

今年の全国フェスティバルの司会進行をしてくれるのは、こどもエコクラブ OB・OG からなる「All Japan Youth Eco-club」。自分たちが全国フェスティバルに参加した時の緊張感を思い出しながら、全国各地から集まったクラブの子どもたちを先輩として温かく迎えてくれました。

こどもエコクラブの人気キャラクター「エコまる」も、グリーティングコーナーで各都道府県の代表クラブや絵日記受賞メンバーを歓迎！たくさんのクラブとご挨拶をして、和気あいあいのオープニングとなりました。



交流タイム

まずはメンバーの緊張をほぐし全国の仲間と楽しく交流するためのプログラムからスタート！早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲスの皆さんの企画・進行で「みんなでなかよくなっちゃおう！」を行いました。周りにいる仲間とグループを作って、指遊びをしたり、順番に数を数えるゲームをしたりして雰囲気や和やかになった後、お題に沿って「好きな動物」、「好きな食べ物」などを名刺に書いてお互いに交換しました。参加メンバーは、前もって全国の仲間と交流するためにオリジナルの名刺を作ってきています。この全国フェスティバルの間にどんどん名刺交換して、たくさんの仲間と仲良くなっちゃおう！

この交流タイムをきっかけに、フェスティバルの間子どもたちは率先して名刺交換を行い、全国各地にエコ活動をしている仲間がいることを実感し、連帯感を深めました。



エコ活セッション

日頃行っている環境活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとにメンバーたちが発表を行い、他のクラブがそれを取材しました。たくさんの人にわかりやすく伝えられるよう、事前に何度も練習してメンバーの発表の連携がバッチリなクラブや手作りのポスターやグッズなどの小道具を使って発表するクラブもいて、子どもたちの活動への熱意の高さがうかがえました。

取材に回ったクラブは会場内を自由に行き来して、興味をもったクラブの話の聞いたり、メモをとったりするなど、どの子どもたちも真剣な表情。これからの活動のヒントもたくさん得たようで、高揚感があふれていました。

地域は違っても同じ分野で活動しているクラブと情報交換し合うなど、子どもたちの熱心な様子に来場した大人たちも圧倒され、熱気があふれる会場となりました。



サポーター交流会

子どもたちが交流をしている間に、メンバーを支えるサポーター・コーディネーターが集まり、こどもエコクラブとして活動したりメンバーをサポートする中で、地域の環境保全に役立ったことや自分自身がやっていて良かったと感じたことなどについて、意見を出し合っていました。次代のサポーター候補でもある「All Japan Youth Eco-club」が進行のサポートを行い、グループ毎に熱心な意見交換が繰り広げられ、子ども・サポーター・地域の各視点でこどもエコクラブの意義やメリットなどについて共有し合うとともに、課題を出し合いました。

全国事務局からは、こどもエコクラブが元気に活動できること、また活動を通じた子どもたちの育成は、サポーター・コーディネーターの皆さんにかかっており、みなさんのお力添えと、今後の活動の活性化のために子どもたちを応援してくれる仲間を増やして欲しいとお願いしました。

今回の交流をきっかけに、こどもエコクラブに関わる大人も刺激を受け合い元気になって、それぞれの地域で活発な活動が継続していくことを期待しています。



企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！

こどもエコクラブを応援している企業・団体によるブースを見学して、企業・団体が取り組んでいる環境に優しい様々な取り組みについて学びました。環境対策を担当している企業・団体の方から直接話を聞いたり質問したりすることで、子どもたちは新たな発見を得たり、地球環境をよくしていこうとする社会の動きを実感したりしました。

子どもたちは、それぞれのブースを取材して学んだこと・感じたことを書きとめるとともに、「こどもエコクラブからのメッセージ」として展示しました。これらのメッセージは、参加した企業・団体に届け、今後の環境に関わる活動の参考にしていただきます。



○ 企業・団体の出展内容

アース製薬株式会社

身近にいる危険な虫の種類や、主な発生場所、またそれらの生き物から身を守るためにはどうすれば良いかの対策を、実際の虫を見ながら学びました。



アマノ株式会社

会社やお店で使われている「タイムカード」が再生紙で作られていること、また紙を使わない IC カードが使われ始めていることを知りました。



公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

社員の方と地域の小中学生がお店の周りで様々なエコ活動をしている「イオンチアーズクラブ」について聞き、仲間がたくさんいることを実感しました。



株式会社イーキ

排出してしまった二酸化炭素を違う方法で埋め合わせる「カーボン・オフセット」について学びました。カーボン・オフセット商品の椅子にも座ることができました。



SGホールディングスグループ(佐川急便)

荷物を運ぶ時のエコな工夫「環境に優しいトラック」、
「エコユニフォーム」と、森の大切さを考える「森を元気に
する活動」について理解を深めました。



ペットボトルの物にして、
作業服を作っています。
すていと書きました。
そしてトラックもエコが
て動いているすていと
書きました。

株式会社エフピコ

使用済み食品トレーをトレーにリサイクルする技術や
再生原料をつかった「エコトレー」について学び、リサイク
ルの大切さを実感しました。



エフピコ
ペットボトルの性質を
ふかして、いもみねこ
ろで再利用されること
を学びました。これから
リサイクルします。

王子ホールディングス株式会社

森を守り、育てる活動や、木材を無駄なく使うことの大切
さについて考えました。また、「ヤイロチョウ」などの絶
滅危惧種を守る活動について学びました。



王子ホールディングス
木をうる
使ったものにうる
もわりくらいが
再利用
どうがうなどにも
まてにしている。

オリンパス株式会社

物を壊さなくても中が見られる内視鏡を実際に体験し
ながら学びました。また、普段の仕事で再生エネルギー
をつかっていることに驚きました。



オリンパス
目撃場所でも見れる
カメラが環境
にやさしいことが
おどろきました。

DOWA エコシステム株式会社

携帯電話やゲーム機などの身近な電気製品に、リサ
イクルできる様々な金属が使われていて、それを集めると
また使えることを知りました。



スマホの古い部品
な部品が、集まると
また使えること
DOWAエコシステム

トヨタ自動車株式会社

車が走る時、車を作る時の CO₂を減らすための工夫
や、工場での取組などについてクイズを通して楽しく考
えました。水などの資源を大切にする工夫もわかりました。



トヨタ自動車
自動車は、人が二
人分の力を出して、
はた、水や電気を
使っていていいよ
思いました。

一般社団法人日本印刷産業連合会 グリーンプリンティング認定事務局

カラーの印刷ができるまでの仕組みを体験したり、印
刷物を長く使う技術など、様々な印刷のエコを発見しま
した。



グリーンプリンティングは、
色の付く(青、赤、黒)色で
印刷できている。すてい
たくなりました。
そして破れない紙もあつ
たと思われました。

公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

プラスチック製容器包装や PET ボトルのリサイク
ル工程の紹介、資源ごみとして出すと危険なものに
ついてしっかりと学びました。



プラスチック製容器包装は、
たのみに、PETボトル
をリサイクルすると
布や服になる。エコ
なことに思いました。
そして、リサイクルに
関係するごみもあつた
と思われました。

文化シャッター株式会社

住宅などを壊したときに出る木材(廃材)と、ペットボトルのキャップなどのプラスチック廃棄物を使った「テクモク」が環境に優しい素材であることを知りました。



文化シャッター
木とプラスチックが
まじったものがあること
はじめてでした。
けずると木のもくめが
むきとおぼろしい。

三井化学株式会社

不織布とコットンを使った油を吸い取る実験を通じて、海洋に流出した油の回収方法と、海などの環境を守る取り組みを学びました。



三井化学
川にながれいる油は
などはどうしたら
なからたのびわがこぼ
かたむき。

株式会社山田養蜂場

クイズを通して、ミツバチの働きの大切さと、生き物のつながりが自分たちの暮らしにどんな影響を及ぼすかを考えました。



山田養蜂場
ミツバチがいなくなると
ミツバチは人間がほめる
たのびわがなくなってしまう
以外はなくなってしまう
ミツバチのおおかげで
ミツバチのおおかげで

エコマーク事務局

暮らしの中で身近にあるエコマーク商品を実際に手に取り、どんなところが環境にやさしいのか考えました。また、ホテルなどにもエコマークがあることを知りました。



エコマーク事務局
日々生活している中で、
のびわにエコマークがついて
たのびわがかりました。
たのびわは、
たのびわの注目
つけたたのびわ

おいしいランチにみんなで舌つづみ♪

こどもエコクラブ全国フェスのランチと言えば、みんなが大好きなカレー！

株式会社ミールケアのご協力で、アレルギーフリーの特製カレーを参加者の皆さんにご用意しています。野菜パンで最後にカレールーをぬぐうとお皿もキレイになる、エコな食べ方をご紹介します。子どもたちもしっかりチャレンジしてお皿をキレイにしていました。

目一杯がんばったエコ活セッションも終わり、朝からの緊張がすっかり解けた子どもたちはお腹ペコペコ！小さいメンバーも残すことなく、みんなでおいしくいただきました。

東京都水道局からは「東京水」をご提供いただきました。



みんなで表彰式★ ～賞状作り～

「エコ活セッション！」で一番最初にじっくりと取材したパートナークラブ同士で、お互いにこれまでの活動を称えあう「みんなで表彰式★」を行いました。まずは、取材内容をもとにパートナークラブの良かったところ、特長があるなと思ったところ、頑張ってるな！と感じた点をメンバーみんなで話し合い、パートナークラブに贈る世界でたった1枚の表彰状を相談して作りあげました。

賞の名前をどうするかが一番のポイントなのですが、さすがこどもエコクラブ、ユニークかつパートナークラブの良さをしっかり表現した賞の名前ばかり！とてもステキな賞状が次々と出来上がりました。



みんなで表彰式★ ～表彰式～

賞状が完成したら、できあがった賞状をお互いに授与し合う「表彰式」です。賞状を読みあげ、どうしてその賞名にしたのかを説明しあって握手！お互いに称えあう拍手をして、会場みんなに見えるように賞状を掲げました。

クラブの仲間同士で称え合うことで、こどもエコクラブとしての連帯感が生まれました。どのクラブも満足そうで、これからの活動も頑張ろうという意欲が高まりました。



来賓挨拶

こどもエコクラブの活動を応援している環境省から、総合環境政策統括官の中井徳太郎様にお越しいただき、これからの子どもたちの活動に期待していること、環境省としても全面的にみんなを応援していることなど心強いメッセージをいただきました。

また、子どもたちの作った壁新聞や絵日記もご覧になり、日頃の熱心な活動のようすやまとめ方の素晴らしさに感心されていました。



表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞や、1年間の活動で印象に残った活動・みんなに伝えたい活動を描いた絵日記をもとに、地域の特性をいかした活動や子どもたちの自由な発想で元気に活動を行っているクラブ・メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。



壁新聞部門 環境大臣賞:せいわエコクラブ

壁新聞部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)
文部科学大臣賞	玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)
日本環境協会賞	今川こども自然クラブ(静岡県湖西市)
三井住友銀行賞	あわっ子!エコ!クラブ(徳島県吉野川市)
エコマーク賞	明和イオンチアーズクラブ(三重県明和町)



文部科学大臣賞:玉一アクアリウム



日本環境協会賞:今川こども自然クラブ



三井住友銀行賞:あわっ子!エコ!クラブ



エコマーク賞:明和イオンチアーズクラブ



絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	HEP21 こどもエコクラブ(青森県弘前市)	山谷 圭汰さん
優秀賞	もりの学舎キッズクラブ(愛知県長久手市)	ハンブレ 沙弥さん
優秀賞	玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)	石間伏 璃青さん
優秀賞	わくわくエコクラブ(岡山県津山市)	辻橋 穂登さん



山谷 圭汰さん



ハンブレ 沙弥さん



石間伏 璃青さん



辻橋 穂登さん



壁新聞



◆環境大臣賞
せいわエコクラブ(大阪府大阪市)
○壁新聞タイトル:「水はどこから」



◆文部科学大臣賞
玉ーアクアリウム(兵庫県神戸市)
○壁新聞タイトル:「明石川を食べる」



◆日本環境協会賞
今川子ども自然クラブ(静岡県湖西市)
○壁新聞タイトル:
「里山は知恵がいっぱい!
～むかしの生活が持続可能な社会につながる～」



◆三井住友銀行賞
あわっ子!エコ!クラブ(徳島県吉野川市)
○壁新聞タイトル:「エコ活ええこと新聞」



◆エコマーク賞
明和イオンチアーズクラブ(三重県明和町)
○壁新聞タイトル:「ゴミ・リサイクルについて」

絵日記



◆優秀賞
 タイトル:だんぶり池作業始め
 山谷 圭汰さん
 HEP21 こどもエコクラブ(青森県弘前市)



◆優秀賞
 タイトル:ちよっぴりこわかった むしさがし
 ハンブレ 沙弥さん
 もりの学舎キッズクラブ(愛知県長久手市)



◆優秀賞
 タイトル:心臓バクバク! 第7回生物多様性
 全国ミーティングシンポジウムで
 石間伏 璃青さん
 玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)



◆優秀賞
 タイトル:たな田の草かり
 辻橋 穂登さん
 わくわくエコクラブ(岡山県津山市)

○ 幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与

全国フェスティバルへの参加が難しい、保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査を行い、上位2クラブに株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈しました。

受賞クラブには、クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて、表彰状の授与とメンバーと楽しい体験プログラム「エコまるのエコ教室」を行います(2018年5月予定)。



高岡市合同エコクラブ(富山県高岡市)

○壁新聞タイトル:「だいすきたかおか ちきゅうにやさしく」



柱本保育園こども未来学舎え〜こ・レンジャー(大阪府高槻市)

○壁新聞タイトル:「え〜こ・レンジャーつきぐみレンジャー新聞」

○ クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定 (協力:株式会社ケニス)

こどもエコクラブの元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いを、多くの人に知ってもらうために行っている『クラブ活動フォトコンテスト』の平成29年度第1期～第3期の入賞作品すべてを展示し、全国フェスティバルの参加者全員の投票によって年間賞を決定しました。



■平成29年度こどもエコクラブ賞

第二上田小学校エコクラブ(新潟県南魚沼市)
「川遊び」



■平成29年度ケニス賞

横浜ハッケンジャー(神奈川県横浜市)
「矢上川のうなぎを捕まえてみよう」

クロージングセレモニー

最後にみんなで全国の仲間たちとの交流や活動発表、企業・団体ブースの見学で「わかったこと」「学んだこと」などを振り返りました。

メンバーから、「全国の仲間がいろいろな活動していることがわかった。自分たちも頑張っていこうと思った。」「企業や団体がやっているエコな取組を、実験やクイズで楽しく勉強できた」などの発言がありました。

その後、「All Japan Youth Eco-club」からの『行くぞ、アースレンジャー！！エイエイオー！』のかけ声とともに、「これからもエコ活動を続けていこう！」と誓い合って、「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2018～輝け☆全国のアースレンジャー～」を閉幕しました。



みんなで集まって集合写真



子どもたちからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブから、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間に伝えたいことなどを活動レポートが届きました。クラブからのレポートは、参加できなかった全国の仲間や関係者、その他多くの皆さんに発信するため、子どもエコクラブウェブサイトでも紹介いたします。



○ サポーターの声(一部抜粋)

- ・ 全国のいろいろなクラブの活動を知る事が出来て、勉強になりました。企業、団体も様々なエコに取り組んでいて、子どもも感動していました。
- ・ 初めての全国フェスティバルを楽しみにしていました。想像していた通り大変素晴らしいフェスティバルでした。メンバーの壁新聞の発表も練習通りの成果を出す事ができ、パートナーのクラブの他、皆さんの発表や活動報告も大変勉強になりました。今後はメンバー・サポーターも増員し、さらに活動に勤しみたいと思います。
- ・ 全国の子どもエコクラブと交流することで子どもたちやサポーターの視野が広がり、次年度への意欲向上につながります。
- ・ この1年間、全国フェスティバルに参加することを目標に、たくさんの体験活動をしてきました。人前で発表する貴重な場をいただき、とても喜んでいました。
- ・ 大学生、企業、団体、子ども達を上手にコラボができていてよかったです。子ども達がまとまりました。
- ・ 企業・団体の紹介では、子どもたちに分かりやすく、あきさせず、記憶に残るコメントばかりで感心しました。ブースもエコ活動として参考になることがたくさんありました。説明も丁寧で、取り組んでいる事がわかりやすかったです。

代表クラブ一覧

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
北海道	釧路市	こどもエコクラブくしろ※	エコ通信 釧路湿原から 2017
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ	わたしたちとだんぶり池の仲間たち
宮城県	仙台市	泉ヶ丘エコクラブ	泉ヶ丘エコクラブ新聞
秋田県	秋田市	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	ごみを考える
福島県	郡山市	湖南エコクラブ	湖南小エコクラブ新聞
茨城県	水戸市	かみおおのアースレンジャー	守ろう！上大野の美しい自然
栃木県	壬生町	なかよしクラブ	防ごう！地球温暖化
群馬県	太田市	スター☆クラブ	スター☆クラブ新聞
埼玉県	三芳町	竹の子エコクラブ	竹の子エコクラブ
千葉県	習志野市	イオン津田沼チアーズクラブ	イオン津田沼チアーズ新聞
東京都	新宿区	こどもエコ広場新宿	こどもエコ広場新宿新聞
神奈川県	横浜市	港南台自然観察クラブ・クロロ	クロロの活動日 春・夏・秋・冬
新潟県	南魚沼市	第二上田小学校エコクラブ	楽しいよ 上田の自然
福井県	越前市	坂口エコメイト	コウノトリが舞いおる坂口の自然を守り、そしてつないでいこう！！
山梨県	甲府市	和泉エコクラブ	和泉エコ日記
岐阜県	飛騨市	一般社団法人 飛騨シューレ	生活に役立つ楽しいエコ新聞
静岡県	湖西市	今川こども自然クラブ	里山は知恵がいっぱい！ ～むかしの生活が持続可能な社会につながる～
愛知県	半田市	半田こどもエコクラブ	エコクラブ活動新聞 in 半田
三重県	明和町	明和イオンチアーズクラブ	ゴミ・リサイクルについて
滋賀県	大津市	TANAKAMI こども環境クラブ	地域から学ぶ環境ツアー キーワードは OK！ ステージ1～ステージ6
京都府	京都市	西京極児童館自然探検隊2004	1年間の活動
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ	水はどこから
兵庫県	神戸市	玉一アクアリウム	明石川を食べる
鳥取県	米子市	それ行け中海探検	豊かな中海について知ろう
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル調査新聞XI
岡山県	津山市	わくわくエコクラブ	わくわく活動新聞 2017年
広島県	広島市	イオン広島祇園店チアーズクラブ よつば隊	世界自然遺産「宮島を守ろう！」
香川県	高松市	シオン・エコサイエンスクラブ	きれいな地球で遊びたい
徳島県	吉野川市	あわっ子！エコ！クラブ	エコ活ええこと新聞
愛媛県	新居浜市	レインボーキッズ	恵みを感じて！守ろう！えひめの自然 part3
高知県	香美市	ハッピーコロリン (香美市こどもエコクラブ)	それいけ香美市こどもエコクラブ
福岡県	筑紫野市	エコまめクラブ	こん虫ひょう本を作ろう！
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	生きている化石カブトガニのヒミツにせまる！！
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ (広安西小学校環境委員会)	生活こそが環境活動！！
鹿児島県	鹿児島市	田上川こどもエコクラブ	身近な川の生き物調べと私たちの水かんきょう (田上川新聞)
沖縄県	竹富町	西表ヤマネコクラブ	西表山猫新聞

※都合により欠席したクラブ

広報・普及活動

多くの方々に全国フェスティバルの周知を図るため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

- ・子どもエコクラブホームページ、SNS、メールリスト等にて、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発信。
- ・公益財団法人日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省、文部科学省等の記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ パートナー企業・団体へのリリース など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、メディアや各地方自治体、パートナー企業・団体、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体において掲載されました。

◆地方自治体(一部抜粋)



大阪府(2017.3.29)



三重県(2018.3.9)



神戸市(2018.3.23)



新潟県(2018.3.23)



秋田県(2018.4.3)

◆企業・団体等(一部抜粋)



アース製薬株式会社
(2014.4.2)



株式会社イトーキ
(2018.4.3)



トヨタ自動車株式会社
(2018.4.10)



三井化学株式会社
(2018.3.27)

◆メディア(一部抜粋)



中日新聞(2018.3.28)



静岡新聞(2018.3.)

こどもエコクラブ支援企業・団体一覧

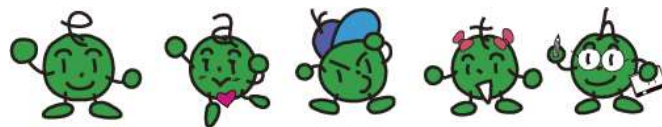
こどもエコクラブは、多くの企業・団体の支援により活動しております。



アース製薬	アトリエはるか	アマノ
イオン1%クラブ	市流	イトーキ
SGホールディングスグループ (佐川急便)	エフピコ	塩ビ工業・環境協会
王子ホールディングス	岡山東法人会	オリンパス
教育出版	共立駐車場工事	共立理化学研究所
キリン	ケニス	サラヤ
シミズオクト	清水建設	ジャパンビバレッジグループ
昭和シェル石油	住商フーズ	3R 活動推進フォーラム
積水化学工業	全労済	高杉製薬
タカラトミー	鉄建建設	電通
東京国際フォーラム	東京建物	東京都民銀行
東洋ライス	東レ	DOWA エコシステム
トヨタ自動車	西久大運輸倉庫	西日本ビル代行
ニッポンハムグループ	日本印刷産業連合会・ グリーンプリンティング認定事務局	日本即席食品工業協会
日本容器包装リサイクル協会	長谷工コーポレーション	林事務所
バンダイナムコホールディングス	ブリヂストン	プロントコーポレーション
文化シヤッター	マツモトキヨシホールディングス	ミールケア
三井化学	三井住友海上火災保険	三井住友銀行
三菱地所	三菱地所設計	三菱地所リテールマネジメント
三菱地所レジデンス	三菱電機	山田養蜂場
ライオン	リード	リソー教育グループ
龍角散	ロック・ペイント	ワイス・ワイス

(五十音順・2018年3月現在)





■ 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250

こどもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>